

なりたい現場をつくる 12講

第1講 こんな現場で困っていませんか？



1 今、工場は困っています

今、多くの工場が困っています。働き方改革が叫ばれ、労働時間や残業時間の抑制が、社会的にも強い要請になっています。その一方で、生産量は増加している業界も多く、現場はひっ迫している状況にあります。

ベテラン人材が退職などでどんどん現場からいなくなり、その人材の穴を埋めるために、今まで採用を絞っていた工場が、急に若手人材の採用を積極的に進めてきた結果、人員構成がいびつになってしまった工場も珍しくありません。

そうした工場では、現場のことが良くわかってる人が少なくなる一方で、ひっ迫する生産に対応するために、ノウハウの伝授など教育を十分に受けずに生産活動に従事している若手人材が増えてしまうという状況になっています。

教育が不十分な状態で作業をしている若手人材の中には、そのような状況に不満を持ち早期に退職をしていく事例もあります。昨今の社会的な人材不足もあいまって、若手人材の採用が難しくなり、採用してもすぐに辞めてしまう、といった状況もあります。そのような状況を、なんとか打破して、現場を良くして働きやすい姿にしようと、大変なご苦労をしながら変革に向かっているのが今の工場の実情だといえます。

2 「なりたい現場をつくる12講」開講にむけて

困っているけれども、現場をどうにかして変えていきたいと考える工場に共通することがあります。それは、工場を運営するための基本、あるいは、モノづくりの基本が知りたいという、地に足が付いた切実な思いです。何か新しい改善手法が

欲しいとか、これをやれば簡単にうまくいくといった夢の手法が欲しいということではありません。

建物の場合、基礎がしっかりしていなければ、上にいくら立派なものを建ててもすぐに崩れてしまいます。工場の基礎体力がしっかりしていなければ、どんな活動も効果は出ないということです。

この「なりたい現場をつくる12講」シリーズでは全12回を通して、「若手と一緒に、どんな現場をつくれればよいのか」を悩んでいる中堅人材と、「どうすればよいのかがわかる、きちんとした教育」を先輩に求めている若手人材の皆さんの双方に、“なりたい現場”をつくるための基本を学んでいただき、そして困りごとを打破する力をつけていただくことを狙いとしています。

3 講座の構成

この講座は、大きく3つのステップで構成されています。第1講(本講)は問題提起です。

ステップ1

今の足元を固める

しっかりとした基礎をつくる

ステップ2

改善意識を高める

強い現場をつくる

ステップ3

改善を定着させる

強い現場を維持する

第2～4講は、ステップ1として、「今の足元を固める」をテーマに、今の生産活動で直面している問題を考えます。しっかりとした現場の基礎をつくるために、今何をすべきかを解説します。

第5～8講は、ステップ2として、「改善意識を高める」をテーマに、今の現場を少しでも良くしていくための、改善のきっかけをどうつくっていくかを考えていきます。なかなか動かない現場に